



強度行動障がい児者の 地域生活を考えるシンポジウム を開催します

本市では、「新潟市障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例」を制定し、すべての市民が暮らしやすい街の実現を目指しています。強度行動障がいの状態像にあり、様々な生きづらさを抱えながら地域で生活されている方々とその家族が安心して暮らせる環境を整えるため、「新潟市強度行動障がい者(児)支援者養成研修フォローアップ事業」を実施しています。

この度、次のとおりシンポジウムを開催しますのでお知らせします。取材・広報にご協力いただきたくお願い申し上げます。

1 事業名

強度行動障がい児者の地域生活を考えるシンポジウム
～ 教育と福祉 連携強化による今後の展望 ～

2 開催日時

令和6年1月19日(金) 13:00～16:15 (開場 12:30～)

3 会場

新潟市民プラザ ホール 新潟市中央区西堀通6番町866 NEXT21 6階

4 内容

別添チラシを参照ください。

5 参加者

市内の障がい福祉サービス事業所の職員、学校の教職員など 150名(予定)

6 その他

強度行動障がいとは・・・

強度行動障害とは、自傷、他害、こだわり、もの壊し、睡眠の乱れ、異食、多動など本人や周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が、著しく高い頻度で起こるため、特別に配慮された支援が必要になっている「状態」である。強度行動障害にはさまざまな状態像が含まれているが、強い自傷や他害、破壊などの激しい行動を示すのは重度・最重度の知的障害を伴う自閉スペクトラム症の方が多く、自閉スペクトラム症と強度行動障害は関連性が高いと言われている。(厚生労働省)

担当・問い合わせ先

新潟市障がい福祉課 (佐久間)

電話：025-226-1241 FAX：025-223-1500

E-mail：shogai.wl@city.niigata.lg.jp

強度行動障がい児者の 地域生活を考えるシンポジウム

～教育と福祉 連携強化による今後の展望～

「強度行動障がい」という周囲から理解されにくい状態像の方々・・・
障がいの特性を理解し、違いを尊重することで見えてくることがある。
目指すべきは、障がい当事者の「自己実現」 そのために我々は何ができるのか？
支援者ひとりでは難しくても連携することで「できる」ことが必ずあるはず・・・

開催
日時

令和6年1月19日(金) 13:00～16:15(開場12:30～)

会場

新潟市民プラザ ホール 新潟市中央区西堀通六番地866 NEXT21ビル6階
※できるだけ公共交通機関をご利用ください。東堀駐車場パーク600をご利用の場合、30分の割引が可能です。

対象
定員

新潟市内の障害福祉サービス事業所の職員、学校の教職員を優先
150名

申込

新潟市オンライン申請システムより申込をお願いいたします。

令和6年1月10日(水) 17:00 締切

<https://lgpos.task-asp.net/cu/151009/ea/residents/procedures/apply/b8dc9513-f288-4aeb-8329-ca15115795c4/start>



第1部 基調講演

自閉スペクトラム症 その相違(ズレ)を読み解く
～教育と福祉 同じ視点で語ろう～



講師 有川 宏幸 氏

新潟大学教育学部 教授
公認心理師
臨床発達心理士
特別支援学校教員養成の傍ら、
共生社会の実現に向けた社会
活動にも積極的に取り組む。

第2部 シンポジウム

「強度行動障がい児者の地域生活を考える」
～教育と福祉 連携強化による今後の展望～



実践報告者 大澤 紀樹 氏

社会福祉法人新潟太陽福祉会
自閉症総合支援センター センター長
新潟市強度行動障がい支援マネージャー
新潟県強度行動障がい支援者養成研修 講師

開催趣旨

新潟市は、障がいのある人もない人も共に生きるまちづくり条例を制定し、すべての市民が暮らしやすい街を目指しています。

強度行動障がいの状態像にあり、様々な生きづらさをかかえながら地域で生活されている方々とご家族が安心して暮らせる環境を整えるため、新潟市はこれまで市独自で「新潟市強度行動障がい者（児）支援者養成研修フォローアップ事業」実施してまいりました。

本シンポジウムでは、本事業を紹介するとともに「教育分野と福祉分野の連携」の実践報告を行います。

本実践報告を共有することで今以上の連携、さらには「今後の展望」を皆様と共に模索したいと考えております。

プログラム

13:00～ 開会のあいさつ

新潟市福祉部障がい福祉課 課長 小林 直人

13:05～ 基調講演

自閉スペクトラム症 その相違(ズレ)を読み解く
～教育と福祉 同じ視点で語ろう～

講師 新潟大学教育学部 教授 有川 宏幸 氏

14:35～ 休憩10分間

14:45～ シンポジウム

「強度行動障がい児者の地域生活を考える」
～教育と福祉 連携強化による今後の展望～

■話題提供

「夜間休日相談から見た行動障がい児者の地域生活の現状」

(福)新潟太陽福祉会 障がい福祉サービス事業所はまかぜ 所長 細井 聡仁 氏

■実践報告

「強度行動障がい児の支援に対するコンサルテーションを通しての連携」

(福)新潟太陽福祉会 新潟市強度行動障がい支援マネージャー 大澤 紀樹 氏
県立西蒲高等特別支援学校 教諭 武者 美奈絵 氏

■助言者

新潟大学教育学部 教授 有川 宏幸 氏

主催：新潟市福祉部障がい福祉課

お問い合わせ先

新潟市福祉部障がい福祉課

指定係（担当：小林）

電話：025-226-1241

E-mail：shogai.wl@city.niigata.lg.jp